

都市計画マスタープラン 進捗管理
(平成 24 年度～平成 28 年度) 版

平成 25 年度報告書

平成 26 年 7 月

狛 江 市

目次

序章	はじめに	1
第1章	年次計画一覧	3
第2章	進捗評価シート	7
1	土地利用の方針	7
(1)	総表	
(2)	北部・事業別進捗評価シート	
(3)	中部・事業別進捗評価シート	
(4)	南部・事業別進捗評価シート	
2	道路・交通網整備の方針	25
(1)	総表	
(2)	事業別進捗評価シート	
3	環境まちづくりの方針	35
(1)	総表	
(2)	事業別進捗評価シート	
4	安心・安全まちづくりの方針	49
(1)	総表	
(2)	事業別進捗評価シート	
5	福祉のまちづくりの方針	63
(1)	総表	
(2)	事業別進捗評価シート	
6	狛江らしい文化を育むまちづくりの方針	73
(1)	総表	
(2)	事業別進捗評価シート	
第3章	今後の取組み	83
1	評価結果のまとめ	83
2	取組みの推進に向けて	83

序章 はじめに

1 進捗管理

市では、平成 24 年 3 月に都市計画マスタープランを策定し、5 つのまちづくりの目標の実現のため、土地利用の方針並びに道路・交通網整備、環境、安心安全、福祉及び文化の 6 つの各分野ごとに、まちづくりの方針を示しました。

この都市計画マスタープランについて、その実効性を担保し着実な進展を図るため、前年度の取り組み状況の評価を行い、毎年度進捗管理を行うこととします。

2 本報告書の構成

(1) 年次計画

都市計画マスタープランの計画期間は、平成 24 年度から概ね平成 43 年までとなっていることを踏まえ、都市計画マスタープランの施策の推進に必要な取り組みについて、平成 24 年度から当初 5 年間（平成 28 年度まで）を期間とした年次計画として、指標による進捗管理を行います。この年次計画は、毎年度の実績を踏まえ、必要があればローリングを行います。

(2) 進捗評価シート

都市計画マスタープランに掲げられた 6 つの方針ごとに、各方針の各施策を推進するための事業について、事業内容及び指標の当該年度における実績と前年度比の評価、ヒアリング等に基づく執行状況の検証結果を示し、総合評価を記載しています。

3 進捗評価の方法

(1) 評価方法

評価は、指標の数値による定量的な評価とヒアリング等に基づく定性的な評価の両面的な評価を行い、総合評価とします。

① 指標による評価

評価基準	評価内容	前年度比（目安）	※
s	取組みが大幅に進んだ	1.5 倍以上	0.5 倍以下
a	取組みが進んだ	1 倍超	0.8 倍未満
b	現状維持	0.8 倍～1 倍	0.8～1 倍
c	取組みが後退した	0.8 倍未満	1 倍超
d	取組みの見直しが必要	0.5 倍以下	1.5 倍以上

なお、指標数値の性質上減少させるのが目標となる場合には、※のとおり評価をすることとします。

② ヒアリング等に基づく執行状況の検証

都市計画に関するまちづくりについての課題解決には、住民の合意形成やハード面の整備等、長期間に渡る取り組みが必要になる場合があること、また指標による評価では、ある程度取り組みが進んだ段階においては前年度比の伸びが期待できない場合が多く見受けられることから、ヒアリング等により下記の3つの視点から検証を行うこととします。

視点	検証結果
事業の実績は順調に推移しているか。	a.順調である
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b.一部課題がある
事業の執行体制上の課題・その他	c.課題がある

(2) 重点事業の位置づけ

都市計画マスタープランの6つの方針のうち、土地利用の方針についての施策に関する事業は都市計画の根本的な課題解決に関わる取り組みであり、将来都市構造の実現に向けた重点事業として位置付けることとします。

4 進捗評価シート 凡例

施策（方針番号）				
4－2 道路・交通網整備施策				
施策の内容	①	歩行空間の充実		
	②	自転車利用環境の改善		
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上		
	④	体系的な道路網整備		
事業No.	事業名			担当課
1	調布3・4・16号線整備事業（七差路）・調布3・4・4号線整備事業 市道34号線整備事業・市道32号線整備事業 要修繕箇所の整備			整備課土木整備係
指標評価				
指標	歩道整備箇所の延長（m）・数（修繕含む）			
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	
83m	84m	1.01倍	a	
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）				
視点	検証結果		理由・課題	
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	調布3・4・16号線については警察協議が整わない点が問題点だが、概ね7～8年の計画通りに推移している。	
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—	
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	・道路整備を進める際には、事前にどのような事態が発生するかを想定し、その想定される事態について関係する部署が集まって協議を行うことが必要であるが、そういった連携がされてなかった。連携が必要である。 ・事業認可をとるための担保（例：財政面）が難しい。	
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）				
評価結果		コメント		
A		—		
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある		—		

都市計画マスタープラン上の位置づけを示しています。

事業名及び事業内容並びに担当課を示しています。

各課よりいただいた指標と前年度（平成24年度）及び今年度（平成25年度）における指標の実績を記載したうえで、前年度比を算出し、評価結果を示しています。

ヒアリング結果等を踏まえ、3つの視点からの執行状況の検証の結果を示しています。

指標評価と執行状況の検証を踏まえた総合評価を示しています。

第1章 年次計画一覧

年次計画一覧

4-1 土地利用の方針

	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度予定	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
北部								
①	良好な住宅地環境の維持・形成	・条例届出件数 ・景観まちづくりWG、PT開催回数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	32件	41件 8回(WG) 3回(PT)	30件 4回(WG) 2回(PT)	30件 2回(WG)	30件 2回(WG)
②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	整備本数・箇所(m)	まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	1本 (164m)	1本 (138m)	—	—	未定 (3・4・23号線)
③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	誘導件数1件	誘導件数1件	誘導件数1件 協議会1件	誘導件数1件 協議会1件
④	狭あい道路地区における住環境の改善	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課課境確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	説明会3回	協議会1件
⑤	大規模な開発の適切な誘導	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	協議会1件	協議会1件	協議会1件 地区計画1件	大規模1件	—
⑥	農地の保全・活用	買取面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	—
⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	—	—	—	地区計画1件
中部								
①	良好な住宅地環境の維持・形成		まちづくり推進課まちづくり推進担当					
②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	—
③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	—	—	協議会1件	協議会1件
④	狭あい道路地区における住環境の改善	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課課境確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	説明会3回
⑤	大規模な開発の適切な誘導	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	協議会1件	協議会1件	協議会1件	協議会1件	地区計画1件
⑥	農地の保全・活用	買取面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	0.18ha
⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進		まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係					
南部								
①	良好な住宅地環境の維持・形成		まちづくり推進課まちづくり推進担当					
②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	—	—	説明会2回	—	—
③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・住居系用途への誘導件数 ・用途地域の見直し	まちづくり推進課都市計画担当	—	—	—	—	—
④	狭あい道路地区における住環境の改善		まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係					
⑤	大規模な開発の適切な誘導		まちづくり推進課まちづくり推進担当					
⑥	農地の保全・活用	買取面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	0.44ha
⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進		まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	—	庁内検討委員会9回 構想策定委員会3回	庁内検討委員会1回 構想策定委員会1回	地区計画1件

4-2 道路・交通網整備の方針

	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度予定	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	歩行空間の充実	・歩道整備の数(セミフラット化) ・要修繕箇所の整備率 ・ポケットパーク、休憩用ベンチの設置数 ・ミニシンボルロードの整備箇所	整備課土木整備係・財産管理係 道路交通課交通対策係 環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係	34号線:83m 2基 (H24年度まで15基)	32号線:84m 3・4・17緑地帯に4基 田中橋交差点付近に1基	22号線:10m 必要な場所に1～2基	未定 必要な場所に1～2基	未定 (3・4・23号線) 必要な場所に1～2基
②	自転車利用環境の改善	・放置自転車、自転車放置禁止区域数 ・公共施設の駐輪場整備状況 ・マナー教室の参加者数 ・自転車が関与する交通事故件数	道路交通課交通対策係 道路交通課交通対策係	自転車マナー教室参加者1,003人 自転車関与交通事故件数23件 狛江駅105台、和泉多摩川駅10台、喜多見駅2台	自転車マナー教室参加者1,418人 自転車関与交通事故件数15件 狛江駅102台、和泉多摩川駅10台、喜多見駅4台	自転車マナー教室参加者1,500人 自転車関与交通事故件数15件 各駅放置ゼロ	自転車マナー教室参加者1,550人 自転車関与交通事故件数15件 各駅放置ゼロ	自転車マナー教室参加者1,600人 自転車関与交通事故件数15件 各駅放置ゼロ

③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上	・こまバス利用者数 ・地下駐車場利用者数	道路交通課交通対策係	157,173人	160,967人	153,000人	153,000人	153,000人
			道路交通課交通対策係	車96,999台(定33) バイク235台(定4)	車92,504台(定36) バイク215台(定4)	120,000台	120,000台	120,000台
④	体系的な道路網整備	・整備済み本数(都市間幹線道路、主要幹線道路及び補助幹線道路、主要生活道路、生活道路) ・現状適正状態にある道路割合 ・狭あい道路整備率	整備課土木整備係・財産管理係	34号線	32号線 (82m)	623号線 95m 303号線 235m 430号線 135m 834号線 75m 22号線 10m	110号線 220m 379号線 60m 706号線 180m 487号線 60m 222号線 130m 524号線 140m	未定
			道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	76%(面積)が適正 (道路修繕不要)	77%	84%	88%	90%

4-3 環境まちづくりの方針

方 向		指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度 実績	指標の平成25年度 実績	指標の平成26年度予 定	指標の平成27年度 予定	指標の平成28年度 予定	
①	環境まちづくり施策 に関わる「拠点」の 形成	1) 水の拠点	・水辺の乗校参加者数 ・せせらぎ保全活動実績 ・弁財天池保全活動実績	環境政策課水と緑の係	水辺の乗校 4,689人 弁財天見学者1,232人	水辺の乗校 4,015人 弁財天見学者1,528人	水辺の乗校 約5,000人 弁財天見学者1,600人	水辺の乗校 約5,000人 弁財天見学者1,700人	水辺の乗校 約5,000人 弁財天見学者1,800人
		2) 緑の拠点	・和泉多摩川緑地都立公園化推進体制 整備 ・和泉多摩川緑地都立公園化取組実績 ・緑被率 ・樹林地の確保実績	政策企画調整担当 まちづくり推進課都市計 画担当	—	H26年4月組織改正	庁内検討委員会9回 構想策定委員会3回	庁内検討委員会1回 構想策定委員会1回	
		3) 農の拠点	・認定農業者数 ・市民農園の利用率 ・体験農園の利用率 ・遊離場所農地の数	地域活性課地域振興係 安心安全課防災防犯係	・認定農業者数 17人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 58%	・認定農業者数 19人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 98%	・認定農業者数 19人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 100%	・認定農業者数 20人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 100%	・認定農業者数 20人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 100%
				なし	0箇所	5箇所	10箇所	15箇所	
②	環境まちづくり施策 に関わる「水と緑の ネットワーク」の形成	1) 水のネット ワーク	・多摩川、野川の流域自治体や管理者 との協働活動回数	環境政策課水と緑の係	野川流域連絡会 流量調査4回	野川流域連絡会 流量調査4回	野川流域連絡会 流量調査4回	野川流域連絡会 流量調査4回	野川流域連絡会 流量調査4回
			・野川美化清掃の参加人数 ・多摩川統一清掃の参加人数	環境政策課水と緑の係 清掃課業務係	・野川清掃未実施 ・多摩川統一清掃1,728人	・野川清掃280人 ・多摩川統一清掃1,863人	・野川清掃約300人 ・多摩川統一清掃1,850人	・野川清掃約300人 ・多摩川統一清掃1,850人	・野川清掃約300人 ・多摩川統一清掃1,850人
		2) 緑のネット ワーク	・整備回数(実績) ・水路の緑化の実績	道路交通課道路管理 係・境界確定係 環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係	・花いっぱい事業市 道3箇所 ・3・4・17号線緑地 帯 —	・花いっぱい事業は市道 3カ所 ・法定外公共物等利用 方針策定 —	・花いっぱい事業 ・法定外公共物等利用 方針に基づく整備 旧七小跡地児童遊園整備 (1,153㎡)	・花いっぱい事業 ・法定外公共物等利用 方針に基づく整備	・花いっぱい事業 ・法定外公共物等利用 方針に基づく整備
					—	—			
③	環境まちづくりの促 進	1) 公共空間の 緑化の推進	・公共施設の届出件数 ・緑のカーテン実績	まちづくり推進課まち づくり推進担当 環境政策課水と緑の係 環境政策課水と緑の係 学校教育課教育庶務係	4件 庁舎前 1箇所 7箇所	3件 0箇所 9箇所	3件 1箇所 10箇所	3件 1箇所 11箇所	3件 1箇所 11箇所
		3) 民有地の 緑化の推進	・提供公園実績(面積等)	環境政策課水と緑の係	もみの木児童遊園 234㎡	いずみ児童遊園 528.01㎡ 和泉憩いの広場 586.84㎡	まちづくり条例に基づく提供 公園のほか休遊地の確保	まちづくり条例に基づく提供 公園のほか休遊地の確保	まちづくり条例に基づく提供 公園のほか休遊地の確保
④	公園・緑地の維持・管理と整備	・維持・管理回数	整備課土木整備係 環境政策課水と緑の係	年3回除草 年35回清掃	年3回除草 年35回清掃	年3回除草 年35回清掃 七小跡地児童遊園1,153㎡	年3回除草 年35回清掃	年3回除草 年35回清掃	

4-4 安心・安全まちづくりの方針

方 向		指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度予定	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	総合的な防災対策の推進	・避難所運営協議会数 ・訓練参加者数	安心安全課防災防犯係	避難所運営協議会数2箇所 訓練参加者数1,861人	避難所運営協議会数5箇所 訓練参加者数1,766人	避難所運営協議会数12箇所 訓練参加者数2,181人	避難所運営協議会数12箇所 訓練参加者数2,341人	避難所運営協議会数12箇所 訓練参加者数2,501人
		・避難行動要支援者名簿登録数 ・ヘルプカード交付者数	地域福祉課地域福祉係	2,738人 0人	2,818人 550人	3,000人 600人	3,200人 650人	3,400人 700人
②	災害に強い都市空間の形成	安心安全課安心安全係 地域活性課地域振興係	安心安全課安心安全係 地域活性課地域振興係	—	—	—	—	—
		・制度利用者数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	耐震診断1件	耐震診断3件	補強設計1件	耐震改修1件	—
③	避難空間の機能向上	・備蓄食糧数	安心安全課防災防犯係	45,410	45,410	74,000	74,000	74,000
		地域福祉課地域福祉係	地域福祉課地域福祉係	—	—	—	—	—
④	住宅地の防災性の向上	・耐震化率 ・各種制度利用実績	まちづくり推進課まちづくり推進担当	耐震化率59.75% 耐震診断12件 耐震改修3件	— 耐震診断13件 耐震改修10件	— 耐震診断30件 耐震改修15件	— 耐震診断30件 耐震改修15件	— 耐震診断30件 耐震改修15件
		・拡幅整備を行った箇所数	道路交通課道路管理係・境界確定係 整備課土木整備係・財産管理係	34号線	32号線	623号線 95m 303号線 235m 430号線 135m 834号線 75m 22号線 10m	110号線 220m 379号線 60m 706号線 180m 487号線 60m 222号線 130m 524号線 140m	未定
⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上	・公共施設の耐震化進捗状況(未耐震化件数累計)	施設課施設計画係	10	7	3	2	1
⑥	水害対策の推進	・整備率 ・雨水浸透施設の設置数 ・浸透ます、貯留槽設置数	下水道課下水道管理係	雨水管渠整備率72.07%、 浸透ます0基、浸透トレンチ0m、 道路浸透ます690基、 浸透ます助成37基、貯留槽助成24基	雨水管渠整備率73.47%、 浸透ます0基、浸透トレンチ0m、 道路浸透ます617基、 浸透ます助成25基、貯留槽助成16基	雨水管渠整備率75%、 浸透ます180基、 浸透トレンチ400m、 浸透ます助成50基、 貯留槽助成10基	雨水管渠整備率77%、 浸透ます180基、 浸透トレンチ400m、 浸透ます助成50基、 貯留槽助成10基	雨水管渠整備率79%、 浸透ます180基、 浸透トレンチ400m、 浸透ます助成50基、 貯留槽助成10基
⑦	犯罪を防止する都市空間づくり	・パトロール実施登録者数 ・メール登録者数 ・刑法犯発生件数	安心安全課防災防犯係	パトロール実施者数634人 メール登録者8,288人 刑法犯580件	パトロール実施者数619人 メール登録者9,502人 刑法犯617件	パトロール実施者数640人 メール登録者9,700人 刑法犯520件	パトロール実施者数645人 メール登録者9,900人 刑法犯490件	パトロール実施者数650人 メール登録者10,000人 刑法犯460件
		・安心安全ボランティア登録者数	学校教育課教育庶務係	170人	112人	170人	170人	170人
⑧	交通事故を防止する都市空間づくり	・LED本数(LED移行本数)	道路交通課道路管理係	平成24年度まで360本	年間104本	年間100本	年間100本	年間100本
		・交差点改良数 ・ハンパ設置数 ・カラー舗装延長数	道路交通課道路管理係 整備課土木整備係	カラー舗装マニュアルによる計画的整備のほか、 通学路緊急急勾による実施による5路線1,265m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備4路線1,315m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備5路線1,000m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備2路線500m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備2路線500m

4-5 福祉のまちづくりの方針

	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度予定	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	市民のニーズに応じた住まいの確保	・シルバーピア利用率 ・都営住宅募集案内配布部数	高齢障がい課高齢者支援係	いわど 100% のがわ 100% いずみ 94%	各施設100%	各施設100%	各施設100%	各施設100%
			市民課住民記録係	①配布部数 2,000部 ②募集戸数 7 ③倍率 83.7倍(ただし、第四四半期を除く)	①配布部数 2572部 ②募集戸数 70件 ③11.5倍、6.3倍、22.5倍(ただし、第四四半期を除く)	①配布部数 2,100部 ②募集戸数 9 ③倍率 76.0倍(ただし、第四四半期を除く)	①配布部数 2,150部 ②募集戸数 10 ③倍率 72.0倍(ただし、第四四半期を除く)	①配布部数 2,200部 ②募集戸数 11 ③倍率 68.0倍(ただし、第四四半期を除く)
②	「歩きやすいまちづくり」の推進		道路交通課道路管理係 環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係					
③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり	音楽事業・絵手紙事業イベント開催回数	地域活性課コミュニティ文化係	・音楽イベント開催回数23回 ・絵手紙イベント開催回数48回	・音楽イベント開催回数30回 ・絵手紙イベント開催回数63回	・音楽イベント開催回数31回 ・絵手紙イベント開催回数53回	未定	未定
			地域活性課コミュニティ文化係	P67参照	P67参照	未定	未定	未定
		・地区センター、地域センター、健康増進室、公民館の会議室等の利用状況 ・催し物の参加者数 ・体育施設利用状況、学校開放実績	健康推進課健康推進係	9,940人	9,677人	9,980人	10,000人	10,020人
			社会教育課社会教育係	学校開放利用5,909件(2月までの実績)	学校開放利用6,171件	学校開放利用5,000件	学校開放利用5,000件	学校開放利用5,000件
			公民館	175,631人	169,328人	176,140人	176,140人	176,140人
④	公共公益施設の整備・改善	・公共施設のユニバーサル化(福祉基本条例で定める適合証の交付を受けた施設数累計)	施設課施設計画係	3	4	6	6	7
			健康推進課健康推進係	なし	なし	なし	なし	なし
			地域活性課コミュニティ文化係					
		・狛江市福祉基本条例に基づく完了検査の実績	地域福祉課地域福祉係	24	17	20	20	20
		・赤ちゃんふらっと広報実績、都申請件数	子育て支援課企画支援係	1回、0件	0回、0件	1回、1件	1回、1件	1回、1件
⑤	屋外空間の整備・改善	・整備箇所数	道路交通課道路管理係	道路修繕計画策定	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による(UDブロック)整備3箇所	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による整備3箇所	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による整備3箇所	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による整備3箇所

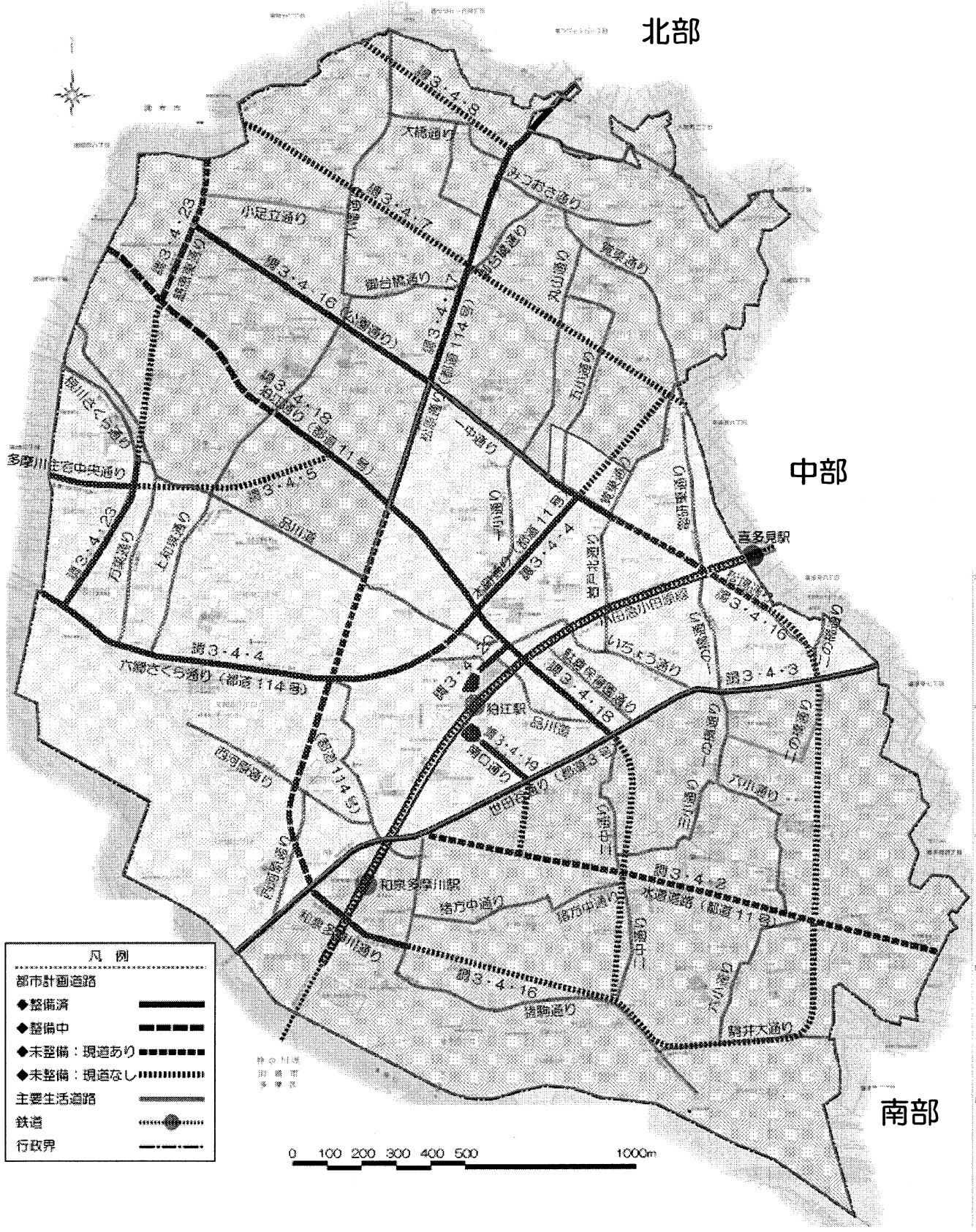
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくりの方針

	方 向	指 標	主 担 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度予定	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成	③)歴史的景観拠点 ・史跡等の指定件数 ・史跡の維持・管理実績 ・史跡の整備実績	社会教育課文化財担当	・史跡等の新規指定0件 ・史跡の維持・管理3件 ・史跡整備0件	・史跡等の新規指定1件 ・史跡の維持・管理4件 ・史跡整備0件	・史跡等の新規指定1件 ・史跡の維持・管理4件 ・史跡整備0件	・史跡等の新規指定1件 ・史跡の維持・管理4件 ・史跡整備1件	・史跡等の新規指定1件 ・史跡の維持・管理5件 ・史跡整備1件
②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成	1)水辺の景観軸 ・多摩川河川敷勧告者数 ・多摩川清掃、野川美化清掃の活動実績、参加者数	環境政策課水と緑の係	・勧告 0件 ・野川清掃 未実施	・勧告 0件 ・野川清掃 280人	・勧告 0件 ・野川清掃 約300人	・勧告 0件 ・野川清掃 約300人	・勧告 0件 ・野川清掃 約300人
		2)緑の景観軸	環境政策課水と緑の係					
		③)街路の景観軸 ・緑のまち推進補助制度利用件数	環境政策課水と緑の係	3件	2件	10件	30件	30件
			道路交通課道路管理係	3.417 (約1,600㎡)				
		・植栽実績	整備課土木整備係	34号線・88㎡	—	—	—	—
		・植込み苗数	環境政策課水と緑の係	花苗 6,808	花苗8,257	花苗8,500	花苗9,000	花苗9,000
③	良質な街並みの保全	・生産緑地数 ・景観まちづくりWG実施回数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	142箇所 WG0回	140箇所 WG8回	142箇所 WG4回	142箇所 WG2回	142箇所 WG2回
④	公共公益施設における文化的拠点の形成	・市民ホール稼働率	地域活性課コミュニティ文化係	狛江市市民ホール稼働率 2月実績まで 56.3%	連報値として57.8%	平成30年度までに66.2%	平成30年度までに66.2%	平成30年度までに66.2%
⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造	・狛江のまち一魅力百選冊子配布数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	—	3,000部	6,000部	2,000部	2,000部
		・文化財展、講演会、講座の実施実績、古民家園の事業実績、入園者数、補助金の交付実績	社会教育課文化財担当	・文化財展2回 ・講座・講演会0回 ・古民家園事業実績40件 ・古民家園入園者数25,586人(2月末時点) ・補助金交付2件30万円	・文化財展2回 ・講座・講演会2回 ・古民家園事業実績39件 ・古民家園入園者数20,889人(2月末現在) ・補助金交付1件30万円	・文化財展2回 ・講座・講演会2回 ・古民家園事業実績40件 ・古民家園入園者数25,000人 ・補助金交付30万円	・文化財展2回 ・講座・講演会2回 ・古民家園事業実績40件 ・古民家園入園者数20,000人 ・補助金交付30万円	・文化財展2回 ・講座・講演会2回 ・古民家園事業実績40件 ・古民家園入園者数20,000人 ・補助金交付30万円

北部

中部

南部



凡例

都市計画道路

- ◆整備済
- ◆整備中
- ◆未整備：現道あり
- ◆未整備：現道なし

主要生活道路

鉄道

行政界

0 100 200 300 400 500 1000m

第2章 進捗評価シート

1 土地利用の方針

4-1 土地利用の方針

(1) 土地利用の基本的な考え方 (P29)

		現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
後期基本計画上のこの分野の指標	まちづくり協議会等の設置件数(件)	5	

地域別	方 向	事 業	指 標	主 管 課 係	進捗 評価	ページ
北部	① 良好な住宅地環境の維持・形成	・狛江市まちづくり条例の改正 ・狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・景観まちづくりビジョンの策定(国分寺崖線周辺)、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正	・条例届出件数 ・景観まちづくりWG、PT開催回数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	A	8
	② 駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・都市計画道路調布3・4・18号線の整備(都施行) ・都市計画道路調布3・4・23号線の整備(優先整備路線)	整備本数・箇所(m)	まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課財産管理係・土木整備係	B	9
	③ 用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・用途地域の見直し(準工業地域北部4ヶ所、その他)	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	A	10
	④ 狭あい道路地区における住環境の改善	西野川四丁目及び中和泉五丁目の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	C	11
	⑤ 大規模な開発の適切な誘導	・【再掲】条例改正 ・狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・都営住宅の建替え	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	A	12
	⑥ 農地の保全・活用	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収 (〔仮称〕東野川近隣公園)	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	C	13
	⑦ 地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・【再掲】国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・地区計画を利用した緑地保全の検討(東野川樹林地)	・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	C	14
中部	① 良好な住宅地環境の維持・形成	・【再掲】狛江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・景観まちづくりビジョンの策定(狛江駅周辺)、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正		まちづくり推進課まちづくり推進担当		
	② 駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・南口再開発の検討 ・都市計画道路調布3・4・16号線の整備	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	C	15
	③ 用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・準工業地域の用途地域の見直し(中部3ヶ所)	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	C	16
	④ 狭あい道路地区における住環境の改善	岩戸地区の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	C	17
	⑤ 大規模な開発の適切な誘導	・【再掲】条例改正 ・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・多摩川住宅地区まちづくり協議会の立ち上げ、地区計画の策定検討	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	B	18
	⑥ 農地の保全・活用	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収、都市計画公園の整備 (〔仮称〕和泉近隣公園)	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	B	19
	⑦ 地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・【再掲】多摩川住宅地区計画の策定 ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備(〔仮称〕松原東稲荷塚歴史公園、〔仮称〕亀塚歴史公園、〔仮称〕白井塚歴史公園)	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当・まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	B	20
南部	① 良好な住宅地環境の維持・形成	・【再掲】狛江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・景観まちづくりビジョンの策定(狛江駅周辺)、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正		まちづくり推進課まちづくり推進担当		
	② 駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・水道道路の拡幅整備(住民対応) ・【再掲】都市計画道路調布3・4・16号線の整備	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	21
	③ 用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・都市計画道路調布3・4・17号線沿い(新設箇所)用途地域の見直し	・住居系用途への誘導件数 ・用途地域の見直し	まちづくり推進課都市計画担当	C	22
	④ 狭あい道路地区における住環境の改善					
	⑤ 大規模な開発の適切な誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議		まちづくり推進課まちづくり推進担当		
	⑥ 農地の保全・活用	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収、都市計画公園の整備 (岩戸南3丁目公園、〔仮称〕岩戸近隣公園、〔仮称〕駒井町3丁目公園、〔仮称〕猪方近隣公園、〔仮称〕駒井近隣公園)	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	B	23
	⑦ 地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・地区計画を利用した緑地保全の検討(東和泉地区) ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備(〔仮称〕土屋塚歴史公園) ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想検討	・地区計画策定件数 ・買収面積・整備面積(ha) ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想策定委員会開催数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	C	24

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名				担当課
重点1	・ 狛江市まちづくり条例の改正 ・ 狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・ 景観まちづくりビジョンの策定（国分寺崖線周辺）、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正				まちづくり推進課 まちづくり推進担当
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	条例改正検討	・ 条例改正済 ・ 景観まちづくりWG、PTの立ち上げ	景観まちづくりビジョン検討	景観まちづくりビジョン策定	条例改正検討（景観、表彰制度）
指標の数値	32件	41件 8回（WG） 3回（PT）	30件 4回（WG） 2回（PT）	30件 2回（WG）	30件 2回（WG）

指標評価			
指標	・ 条例届出件数 ・ 景観まちづくりWG、PT開催回数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
32件	41件 8回（WG） 3回（PT）	1.28倍 — —	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	条例改正した影響で、届出対象となる開発や建築件数は減ると思われるが、条例による誘導を確実に進めていく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	表彰制度の導入の検討は、次回の条例改正と合わせて行う予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	景観に関する検討はこれまで特に行ってこなかったため、平成27年度に狛江市景観まちづくりビジョンを策定し、今後は景観の観点も含めた良好な住環境の確保を進めていくべきである。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課				
重点2	・都市計画道路調布3・4・18号線の整備 (都施行) ・都市計画道路調布3・4・23号線の整備 (優先整備路線)	まちづくり推進課 まちづくり推進担 当 整備課財産管理 係・土木整備係				
年次計画						
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
内容	・23年度繰越分整備（3・4・18） ・整備（3・4・23）	整備（3・4・23）	・整備（3・4・18） ・用地取得（3・4・23）	・整備 ・用地取得（3・4・23）	整備（3・4・23）	
指標の数値	164m	138m	—	—	—	

指標評価			
指標	整備本数・箇所（m）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
1本 （164m）	1本 （138m）	1倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	事業に必要な一部の用地取得が難航している。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	c a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	今後は事業実施による周辺への影響について、関係する部署とともに検討し、市として事業を実施することが望ましい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点3	・【再掲】粕江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】粕江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・用途地域の見直し（準工業地域北部4ヶ所、その他）		まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	条例改正検討	条例改正済	準工業地域（全7箇所）についての見直し方針を検討	準工業地域（1箇所目）について働きかけ	準工業地域（1箇所目）について働きかけ
指標の数値	—	誘導件数 1 件	誘導件数 1 件	誘導件数 1 件 協議会 1 件	誘導件数 1 件 協議会 1 件

指標評価			
指標	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	誘導件数1件	—	S

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	粕江市まちづくり指導基準に沿って、準工業地域における住居系用途並みの誘導を進めていく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	住工混在地区の良好な住環境の維持のための方策としては、平成25年度の粕江市まちづくり条例の改正で住居系用途地域と同等の基準を努力義務として盛り込んでいるが、都市計画法上の用途地域の見直しを進めていく必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点4	西野川四丁目及び中和泉五丁目の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討		道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	方向性検討	町会、自治会へ働きかけ（北部地区）	説明会の実施（北部地区）	協議会立ち上げ
指標の数値	—	—	—	説明会3回	協議会1件

指標評価			
指標	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	木密地域及び狭あい道路地区であること及び生じる危険性について、地元への啓発活動が不十分である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	狭あい道路の解消については、道路修繕計画で修繕が必要とされた道路については修繕と併せて進めているが、木造住宅密集地域である西野川四丁目及び中和泉五丁目地区については、平成26年度から危険性についての意識啓発を図っていく必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある	
C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名				担当課	
重点5	・【再掲】条例改正 ・狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・都営住宅の建替え				まちづくり推進課 まちづくり推進担当	
年次計画						
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
内容	条例改正検討	・条例改正済 ・地区まちづくり協議会立ち上げ	・地区計画素案の確定、地区計画策定 ・都営住宅（都調整）	—	—	
指標の数値	協議会 1 件	協議会 1 件	協議会 1 件 地区計画 1 件	大規模 1 件	—	

指標評価			
指標	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
協議会1件	協議会1件	1倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画策定については、調布市と連携して進めている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点6	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収（（仮称）東野川近隣公園）	まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置方針策定	—	都市計画変更協議	都市計画変更
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価			
指標	買収面積・整備面積（ha）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	生産緑地の解除申請に伴う買収申出の時期が不明のため、計画の見通しが立ちにくい。土地開発公社の活用について、前原公園の事例を参考に研究する必要がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないか検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	庁内で関係部署による検討委員会とワーキンググループを設置し、方針を策定した。
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）			
評価結果	コメント		
C	生産緑地の買収申出に対応できるよう、土地開発公社の活用について、前原公園の事例を参考に研究しつつ、土地購入以外の手法が活用できないか、所有者と調整を進める必要がある。		
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある			

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課				
重点7	・【再掲】国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・地区計画を利用した緑地保全の検討（東野川樹林地）	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当				
年次計画						
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
内容	—	公園緑地の配置方針策定	土地所有者との調整	地区計画素案策定	地区計画策定	
指標の数値	—	—	—	—	地区計画1件	

指標評価			
指標	・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	これまで地区計画を活用した緑地確保の検討を行ってこなかったため、検討する。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	東野川一丁目樹林地等の緑地確保について、地区計画を活用することができないかの検討を平成26年度から開始する必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点8	・南口再開発の検討 ・都市計画道路調布3・4・16号線の整備	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	・南口再開発の検討 ・測量	・継続 ・事業認可	・継続 ・用地買収	・継続 ・継続
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価			
指標	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	南口再開発の検討については、市が働きかけを行う必要がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	都市計画道路調布3・4・16号線の整備については、電中研前までは予定が立っているが、その先について用地買収等見通しを立てることが難しい。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）			
評価結果	コメント		
C	南口再開発については、再開発の必要性が高い他の市内の地域（木造住宅密集地域）の動きを視野に入れつつ、商店街の意向も踏まえ、長期的に検討していく必要がある。		
A.順調である			
B.一部課題がある C.課題がある			

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点9	・【再掲】 粕江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】 粕江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・準工業地域の用途地域の見直し（中部3ヶ所）		まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	—	準工業地域（全了箇所）についての見直し方針を検討	準工業地域（1箇所目）について働きかけ	準工業地域（1箇所目）について働きかけ
指標の数値	—	—	—	協議会1件	協議会1件

指標評価			
指標	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成26年度から取組みを開始する。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）			
評価結果	コメント		
C	住工混在地区の良好な住環境の維持のための方策としては、平成25年度の粕江市まちづくり条例の改正で住居系用途地域と同等の基準を努力義務として盛り込んでいるが、都市計画法上の用途地域の見直しを進めていく必要がある。		
A.順調である			
B.一部課題がある			
C.課題がある			

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点10	岩戸地区の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討		道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	方向性検討	継続	継続	町会、自治会へ働きかけ (中部地区)
指標の数値	—	—	—	—	説明会3回

指標評価			
指標	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	木密地域及び狭あい道路地区であること及び生じる危険性について、地元への啓発活動が不十分である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）			
評価結果	コメント		
C	狭あい道路の解消については、道路修繕計画で修繕が必要とされた道路については修繕と併せて進めている。木造住宅密集地域については、岩戸地区については、平成28年度から危険性についての意識啓発を図っていく必要がある。（平成26年度からまず北部の西野川四丁目及び中和泉五丁目について働きかけを開始するため）		
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある			

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課				
重点11	・【再掲】条例改正 ・【再掲】粕江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・多摩川住宅地区まちづくり協議会の立ち上げ、地区計画の策定検討	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当				
年次計画						
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
内容	・条例改正検討 ・協議会立ち上げ	・条例改正 ・地区計画素案作成	・継続	・地区計画素案策定	・地区計画策定	
指標の数値	協議会 1 件	協議会 1 件	協議会 1 件	協議会 1 件	地区計画 1 件	

指標評価			
指標	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
協議会1件	協議会1件	1倍	b
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	各号棟の連携を図る場として役員による協議会があるが、各号棟ごとに地区計画素案を練っており、調整する必要がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	上記のような課題があり、コンサル費用がそれぞれかかっている。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	調布市との連携は十分図れている。
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）			
評価結果	コメント		
B	今後各号棟を横断的に調整するコンサル会社の動きに合わせ、地区計画素案策定のスケジュールの前倒しを検討すべきである。		
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある			

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点12	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収、都市計画公園の整備 （（仮称）和泉近隣公園）	まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置方針策定	—	都市計画変更協議	都市計画変更
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価			
指標	買収面積・整備面積（ha）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成25年度に公園・緑地の配置方針をまとめ、平成26年度からの第1次整備プログラムに盛り込む予定である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	庁内で関係部署による検討委員会とワーキンググループを設置し、方針を策定した。
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）			
評価結果	コメント		
B	生産緑地の買収申請に対応できるよう、土地開発公社の活用について、前原公園の事例を参考に研究しつつ、土地購入以外の手法が活用できないか、所有者と調整を進める必要がある。		
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある			

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点13	・【再掲】多摩川住宅地区計画の策定 ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備（（仮称）松原東稻荷塚歴史公園、（仮称）亀塚歴史公園、（仮称）白井塚歴史公園）		まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置方針策定	—	都市計画変更協議	都市計画変更
指標の数値	—	—	—	—	(0.18ha)

指標評価			
指標	買取面積・整備面積（ha）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成25年度に公園・緑地の配置方針をまとめ、平成26年度からの第1次整備プログラムに盛り込む予定である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	庁内で関係部署による検討委員会とワーキンググループを設置し、方針を策定した。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	都市計画公園の整備については宅地化が進んでおり既決定されているものについて整備が難しい状況であったため、平成26年度に新規整備の可能性を視野に入れ配置を見直した。中部地区は配置方針の中でも優先的に整備すべきとされるものがあり、計画的に整備していく必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点14	・水道道路の拡幅整備（住民対応） ・【再掲】都市計画道路調布3・4・16号線の整備	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	・（都）航空測量	・（都）本測量、住民説明会	・（都）事業認可取得	・（都）整備
指標の数値	—	—	説明会2回	—	—

指標評価			
指標	- 説明会等の開催件数 - 整備箇所数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）			
評価結果	コメント		
—	—		
A.順調である			
B.一部課題がある C.課題がある			

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点15	・【再掲】 狛江市まちづくり条例の改正 ・【再掲】 狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・都市計画道路調布3・4・17号線沿い（新設箇所）用途地域の見直し		まちづくり推進課 都市計画担当		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	—	—	用途地域の 見直し検討	用途地域の見 直し検討
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価			
指標	・住居系用途への誘導件数 ・用途地域の見直し		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	都市計画道路調布3・4・17号線沿いの用途地域の変更の検討は継続して行い、和泉多摩川緑地に関する都市計画変更と合わせて変更を行う。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	都市計画道路調布3・4・17号線沿いの用途地域の変更の検討は継続して行い、和泉多摩川緑地に関する都市計画変更と合わせて変更を行う必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課				
重点16	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収、都市計画公園の整備 （岩戸南3丁目公園、（仮称）岩戸近隣公園、（仮称）駒井町3丁目公園、（仮称）猪方近隣公園、（仮称）駒井近隣公園）	まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係				
年次計画						
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置方針策定	—	都市計画変更協議	都市計画変更	
指標の数値	—	—	—	—	(0.91ha)	

指標評価			
指標	買収面積・整備面積（ha）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果	理由・課題	
事業の実績は順調に推移しているか。	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成25年度に公園・緑地の配置方針をまとめ、平成26年度からの第1次整備プログラムに盛り込む予定である。	
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。	
事業の執行体制上の課題・その他	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	庁内で関係部署による検討委員会とワーキンググループを設置し、方針を策定した。	

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	都市計画公園の整備については宅地化が進んでおり既決定されているものについて整備が難しい状況であったため、平成26年度に新規整備の可能性を視野に入れ配置を見直した。南部地区は配置方針の中でも優先的に整備すべきとされるものがあり、計画的に整備していく必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		地域
4－1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点17	・地区計画を利用した緑地保全の検討（東和泉地区） ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備（（仮称）土屋塚歴史公園） ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想検討		まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	公園緑地の配置方針策定	・土地所有者との調整 ・和泉多摩川緑地（庁内検討委員会・構想策定委員会）	・地区計画素案策定 ・都市計画変更協議 ・和泉多摩川緑地（庁内検討委員会・構想策定委員会）	・都市計画変更 ・地区計画策定
指標の数値	—	—	・庁内検討委員会9回、構想策定委員会3回（和泉多摩川緑地）	・庁内検討委員会1回、構想策定委員会1回（和泉多摩川緑地）	・地区計画1件（東和泉地区地区計画） ・（0.02ha）

指標評価			
指標	・地区計画策定件数 ・買取面積・整備面積（ha） ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想策定委員会開催数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	これまで地区計画を活用した緑地確保の検討を行ってこなかったため、検討する。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	東和泉の樹林地等の緑地確保について、地区計画を活用することができないかの検討を平成26年度から開始する必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

第2章 進捗評価シート

2 道路・交通網整備の方針

4-2 道路・交通網整備の方針

(2)道路・交通網整備施策の方向(P35)

【上位計画】東京都区域マス上の指標(2025年) 参考			
車の混雑時平均旅行速度 30km/h			
後期基本計画上のこの分野の指標		現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
	修繕を行った道路(市道)の総延長(m)【重点】	—	18,000
	放置自転車の年間撤去台数(台)【個別】	2,408	

	方 向	事 業	指 標	主 管 課 係	進捗 評価	ページ
①	歩行空間の充実	・調布3・4・16号線整備事業・調布3・4・4号線整備事業(終了) ・市道34号線整備事業・市道32号線整備事業(終了) ・要修繕箇所の整備	歩道整備箇所の延長(m)・数 (修繕含む)	整備課土木整備係・財産管理 係	B	26
		ポケットパーク、休憩用ベンチ・思いやりベンチの設置	休憩用ベンチ・思いやりベンチの設 置数	道路交通課道路管理係 環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係	A	27
②	自転車利用環境の改善	・小学生向け自転車教室、中学生向け交通安全教育、一般向け自転 車交通安全教室の開催 ・自転車グッドライダーシールの交付	・自転車マナー教室参加者数 ・自転車関与交通事故件数	道路交通課交通対策係	A	28
		駐輪場の整備、放置自転車対策、自転車走行空間の整備	放置自転車数	道路交通課交通対策係	A	29
③	交通機関の利用に関わる利便性な どの向上	こまバスの運行	こまバス利用者数	道路交通課交通対策係	B	30
		地下駐車場の適切な維持、管理	地下駐車場利用者数	道路交通課交通対策係	B	31
④	体系的な道路網整備	・【再掲】調布3・4・16号線整備事業 ・【再掲】市道34号線整備事業 ・【再掲】市道32号線整備事業(終了)	整備済み本数 (都市間幹線道路、主要幹線道路 及び補助幹線道路、主要生活道 路、生活道路)	整備課土木整備係・財産管理 係	B	32
		・地域内の交通を支える生活道路の管理 ・狭あい道路の整備	現状適正状態にある道路割合	道路交通課境界確定係・道路 管理係 整備課土木整備係・財産管理 係	A	33

施策（方針番号）	
4－2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名	担当課
1	・調布3・4・16号線整備事業・調布3・4・4号線整備事業（終了） ・市道34号線整備事業・市道32号線整備事業（終了） ・要修繕箇所の整備	整備課土木整備係・財産管理係

指標評価			
指標	歩道整備箇所の延長（m）・数（修繕含む）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
83m	84m	1.01倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	市道34号線については、都度延伸している。七差路の安全確保については、電中研前の道路整備の中で行う予定。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	今後は事業実施による周辺への影響について、関係する部署とともに検討し、市として事業を実施することが望ましい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	34号線の整備については、残物件についての対応を迫られているため、引き続き協議を行い、対応を検討する必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名	担当課
2	ポケットパーク、休憩用ベンチ・思いやりベンチの設置	道路交通課道路管理係 環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係

指標評価			
指標	休憩用ベンチ・思いやりベンチの設置数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
2基	5基	2.5倍	s

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	市民からの要望をベースに、毎年2基を目安に設置している。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	寄附をいただいて設置する方式（思いやりベンチ事業）をH26年度から実施する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	設置する場所が道路であれば道路交通課道路管理係、そうでない場合には環境政策課水と緑の係、新設する児童遊園については整備課土木整備係が対応するため、連携を行っている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名	担当課
3	- 小学生向け自転車教室、中学生向け交通安全教育、一般向け自転車交通安全教室の開催 - 自転車グッドライダーシールの交付	道路交通課交通対策係

指標評価			
指標	- 自転車マナー教室参加者数 - 自転車関与交通事故件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
1,303人 23件	1,448人 15件	1.11倍 0.65倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	スタントマンを使った教室は好評のため、継続していきたい。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	警察との連携が必要不可欠なので、今後も連携していく。 これまでは交通安全対策のソフト面を安心安全課が、ハード面を道路管理課が行っていたが、組織改正で道路交通課に一本化されたため、今までの課題は解決されたと考える。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4－2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名		担当課
4	駐輪場の整備、放置自転車対策、自転車走行空間の整備		道路交通課交通対策係

指標評価			
指標	放置自転車数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
狛江駅105台 和泉多摩川10台 喜多見駅2台	狛江駅102台 和泉多摩川駅10台 喜多見駅4台	0.97倍 1倍 2倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	指導員の配置について、H25年度までは補助金にて対応していたが、H26年度からは市の負担になるため、予算の範囲内で柔軟に配置していく必要がある。（例：新生活がスタートする春や夏休み等は放置自転車が微増する等のタイミングを見て調整する）
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	商店街の買物客の短時間駐輪への対応は、空き店舗を活用する等の工夫が必要で、地域活性課との連携が重要である。（例：狛江駅南口商店街の駐輪施設）

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名		担当課
5	こまバスの運行		道路交通課交通対策係

指標評価			
指標	こまバス利用者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
157,173人	160,967人	1.02倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	市民から多く寄せられる意見としては、本数が少ない、ルートについて一方向ではなく双方向にして欲しいというものがあるが、双方向走行は道幅が狭く難しい。乗車数は一定の水準は確保されているが、引き続き利用率向上に向けた努力が必要である。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	乗車数は一定の水準は確保されているが、引き続き利用率向上に向けた努力が必要である。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名		担当課
6	地下駐車場の適切な維持、管理		道路交通課交通対策係

指標評価			
指標	地下駐車場利用者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
車96,999台 バイク235台	車92,504台 バイク215台	0.95倍 0.91倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	地下駐車場の一定程度の利用を確保することが難しくなりつつある。駅前の商店街やタワー駐車場がなくなってしまった店舗等に利用を促している状況である。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	地下駐車場の利用を商店街にも促すため、地域活性課と連携する必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	地下駐車場の一定程度の利用を確保することが難しくなりつつある中で、平成29年度には大規模改修が予定されており（公共施設整備計画）、効率的な運営の方策を抜本的に検討する時期に来ている。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名	担当課
7	・【再掲】調布3・4・16号線整備事業 ・【再掲】市道34号線整備事業 ・【再掲】市道32号線整備事業（終了）	整備課土木整備係・財産管理係

指標評価			
指標	整備済み本数 （都市間幹線道路、主要幹線道路及び補助幹線道路、主要生活道路、生活道路）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
1（34号線）	1（32号線82m）	1倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	事業に必要な一部の用地取得が難航している。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	今後は事業実施による周辺への影響について、関係する部署とともに検討し、市として事業を実施することが望ましい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	34号線の整備については、残物件についての対応を迫られているため、引き続き協議を行い、対応を検討する必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4－2 道路・交通網整備施策	
施策の内容	① 歩行空間の充実
	② 自転車利用環境の改善
	③ 交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④ 体系的な道路網整備

事業No.	事業名	担当課
8	・地域内の交通を支える生活道路の管理 ・狭あい道路の整備	道路交通課境界確定係・道路管理係 整備課土木整備係・財産管理係

指標評価			
指標	現状適正状態にある道路割合		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
76%	77%	1.01倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	道路修繕計画に沿って事業を進めているが、予算の範囲内で行っているため、やや遅れている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

第2章 進捗評価シート

3 環境まちづくりの方針

4-3 環境まちづくりの方針

(2)環境まちづくり施策の方向(P41)

【上位計画】区域マス上の指標(2025年)		
・緑地の確保水準 30%以上(都市計画区域に対し) ・高規格堤防の整備 ・公園緑地 本区域内人口1人当たり21㎡確保		
後期基本計画上のこの分野の指標	現状(23年度)	
	多摩川・野川対象のイベント等の参加者数(人)【個別】	5,783
	樹林地・都市公園・児童遊園の合計面積(㎡)【個別】	121,310
	市民1人当たりの年間ごみ排出量(Kg/年)【個別】	27,481
	ごみの資源化率(%)【個別】	37.7
	資源物の資源化量のうち、集団回収分が占める割合(%)【個別】	23.6

方 向		事 業	指 標	主 管 課 係	進 捗	ページ	
①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成	1) 水の拠点	粕江水辺の楽校、せせらぎ保全活動、弁財天池保全活動	・水辺の楽校参加者数 ・せせらぎ保全活動実績 ・弁財天池保全活動実績	環境政策課水と緑の係	A	36
		2) 緑の拠点	【再掲】和泉多摩川緑地都立公園化（組織改正含む）	（組織改正完了） ・構想策定委員会開催回数	政策室企画調整担当 まちづくり推進課都市計画担当	—	37
			樹林地の保全	・緑被率 ・樹林地の確保実績	環境政策課水と緑の係	B	38
		3) 農の拠点	・認定農業者制度及び農業経営改善補助金制度の推進 ・市民農園の設置及び運営 ・農業体験農園補助事業の実施	・認定農業者数 ・市民農園の利用率 ・体験農園の利用率	地域活性課地域振興係	A	39
			防災農地の確保	避難場所農地の数	安心安全課防災防犯係	A	40
②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成	1) 水のネットワーク	・多摩川、野川の流域自治体や管理者である国土交通省、東京都と協働した活動	協議、活動回数	環境政策課水と緑の係	A	41
			・野川美化清掃 ・多摩川統一清掃	・野川統一清掃の参加人数 ・多摩川統一清掃の参加人数	環境政策課水と緑の係 清掃課業務係	A	42
		2) 緑のネットワーク	清水川整備事業	（完了）	整備課土木整備係		
			街路樹、緑道の維持管理	・整備回数（実績） ・水路の緑道化の実績	道路交通課道路管理係・境界確定係 環境政策課水と緑の係	A	43
		③	環境まちづくりの促進	1) 公共空間の緑化の推進	公共施設のまちづくり条例、緑の保全に関する条例に基づく緑化等の推進	公共施設の届出件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係
・本庁舎の緑化 ・学校緑化基本方針に基づく校庭芝生及び屋上緑化の維持管理、緑のカーテンの設置	緑のカーテン実績				環境政策課水と緑の係 学校教育課教育庶務係	B	45
2) 民有地の緑地保全と農地の活用	（再掲） ・市民農園の設置及び運営 ・農業体験農園補助事業の実施				地域活性課地域振興係		
	（再掲） ・樹林地の保全、新規指定				環境政策課水と緑の係		
3) 民有地の緑化の推進	緑化推進事業（生垣助成、苗木等の配布）、まちづくり条例に基づく提供公園			提供公園実績（面積等）	環境政策課水と緑の係	A	46
④	公園・緑地の維持・管理と整備	公園・緑地の維持・管理	維持・管理回数	整備課土木整備係 環境政策課水と緑の係	A	47	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
9	粕江水辺の楽校、せせらぎ保全活動、弁財天池保全活動	環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	・水辺の楽校参加者数 ・せせらぎ保全活動実績 ・弁財天池保全活動実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
4,689人 1,232人（弁）	4,015人 1,528人（弁）	0.85倍 1.24倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	水辺の楽校の他区市からの参加者について、回数は増えたが、1回あたりの参加単位は小さい単位となってしまったのが減少の原因である。広報の仕方を工夫する必要がある。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	各学校の総合学習の位置づけで行われている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
10	【再掲】和泉多摩川緑地都立公園化（組織改正含む）	政策室企画調整担当 まちづくり推進課都市計画担当

指標評価			
指標	（組織改正完了） ・構想策定委員会開催回数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
—	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
11	樹林地の保全	環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	・緑被率 ・樹林地の確保実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
〇箇所	〇箇所	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	ワークショップの開催がなかなかできず、ワークショップの中で樹林地の保全・管理を市民主体で行ってもらう方向性を模索している。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	マンションの管理団体等を軸に委託方式かアプト方式かを検討している。
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	樹林地を確保する上で、管理体制だけでなく買収コストが不足しており、新たな確保手法（借地）の検討が不可欠である。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	ワークショップを確実に実施し、回数を重ねていく必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4－3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
12	- 認定農業者制度及び農業経営改善補助金制度の推進 - 市民農園の設置及び運営 - 農業体験農園補助事業の実施	地域活性課地域振興係

指標評価			
指標	- 認定農業者数 - 市民農園の利用率 - 体験農園の利用率		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
17人 100% 58%	19人 100% 98%	1.11倍 1倍 1.68倍	s

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	経営改善計画について、平成26年度には平成21年度の初代認定農業者の再認定を行う年度にあっており、これまでの評価をし、併せて再認定の制度内容に活かす予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4－3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名		担当課
13	防災農地の確保		安心安全課防災防犯係

指標評価			
指標	避難場所農地の数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
〇箇所	〇箇所	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	現在、防災農地の提供についてＪＡと調整中である。また、これと並行して行政側から打診していく方法も考える必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4－3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
14	・多摩川、野川の流域自治体や管理者である国土交通省、東京都と協働した活動	環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	協議、活動回数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
4回	野川流域連絡会 流量調査 4回	1 倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
15	- 野川美化清掃 - 多摩川統一清掃	環境政策課水と緑の係 清掃課業務係

指標評価			
指標	- 野川統一清掃の参加人数 - 多摩川統一清掃の参加人数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
未実施 1,728人	280人 1,863人	— 1.08倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	小学校や町会・自治会を通して参加者を募っている。このため、教育委員会や地域活性課とも連携をしていきたい。多摩川統一清掃については、近年バーベキュー等の禁止により毎年回収量が減少している。現状では河川愛護と環境美化意識の啓発が主目的となっているため、担当課の調整を検討する必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
16	街路樹、緑道の維持管理	道路交通課道路管理係・境界確定係 環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	- 整備回数（実績） - 水路の緑道化の実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
花いっぱい事業3箇所 3・4・17緑地帯	花いっぱい事業3箇所 3・4・17緑地帯	1倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	3・4・17緑地帯については、雑草やごみ等の苦情が多く、現在2団体のアドプトをさらに増やしていく働きかけを行っている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	公園・緑地の配置方針で岩戸川緑道の延伸及び清水川公園北側道路を緑道化する予定を盛り込んでいるため、まちづくり推進課と連携して計画を進めたい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4－3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
17	公共施設のまちづくり条例、緑の保全に関する条例に基づく緑化等の推進	まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	公共施設の届出件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
4件	3件	0.75倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成25年度に緑の保全に関する条例や緑の保全に関する条例施行規則の改正を行い、現実的な緩和措置を設けた上で、緑被率の基準を高めており、公共施設の緑化を引き続き進めていく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
18	・本庁舎の緑化 ・学校緑化基本方針に基づく校庭芝生及び屋上緑化の維持管理、緑のカーテンの設置	環境政策課水と緑の係 学校教育課教育庶務係

指標評価			
指標	緑のカーテン実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
庁舎前1箇所 学校7箇所	庁舎前0箇所 学校9箇所	— 1.29倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	防災センター建設工事の影響もあり、平成25年度は庁舎緑化ができなかった。平成26年度は候補場所の選定を行い、実施する予定である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	本庁舎の緑化を継続的に進められる場所を選定し、実施に向けて取り組む必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
19	緑化推進事業（生垣助成、苗木等の配布）、まちづくり条例に基づく提供公園	環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	提供公園実績（面積等）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
234㎡	528.01㎡（い） 586.84㎡（和）	4.76倍	s

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	※ 生垣助成、苗木等の配布については、事業44。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	200㎡以下の提供公園については、費用対効果の側面から、まちづくり推進課と連携し、提供方法の見直しを検討する。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4－3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
20	公園・緑地の維持・管理	整備課土木整備係 環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	維持・管理回数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
除草年3回 清掃年35回	除草年3回 清掃年35回	1倍 1倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

第2章 進捗評価シート

4 安心・安全まちづくりの方針

4-4 安心・安全まちづくり施策の方向

(2) 安心・安全まちづくり施策の方向 (P48)

【上位計画】区域マス上の指標(2025年)			
・市街地2km圏毎に広域避難場所確保 ・木造建築物密集地区の解消 ・高規格堤防の整備			
		現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
後期基本計画上のこの分野の指標	避難所運営協議会設置数(箇所)【重点】	2(H24.12)	13
	市内刑法犯認知件数のうち、窃盗犯・粗暴犯・その他の合計件数(件)【重点】	740(H22)	640
	最近1年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合(%)【重点】	18.5	30
	災害時要援護者支援組織設立準備数(箇所)【重点】	1	20
	公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)【重点】	92.4(H24.4.1)	100(H32.4.1)
	耐震性能が確保された住宅に住んでいる市民の割合(%)【個別】	57.5	↑
	市内交通事故発生件数(件)	211	↓
	自然災害に対して何らかの備えをしている市民の割合(%)	61.6	↑
	耐震化していない公共施設数(施設)【個別】	12	↓
	空き巣・ひったくり・振り込め詐欺などの犯罪に対して何らかの対策をとったり、心がけていることがある市民の割合(%)【個別】	59.5	↑
	非構造部材耐震化学校数(校)【個別】	0	↑
	雨水管渠の整備率(%)【個別】	69.0	↑
	雨水浸透ます設置基数(基)【個別】	3,547	↑

	方 向	事 業	指標案	主 管 課 係	進 捗	ページ
①	総合的な防災対策の推進	・地域防災計画修正 ・避難所運営協議会の設置支援 ・地域への避難所等への配布 ・自主防災組織への補助(防災会、避難所運営協議会) ・災害対策・ソフト面(総合防災訓練、水防訓練、防災講演会の実施) ・資機材、備蓄品の整備 ・洪水・地震ハザードマップの作成・配布(各戸+転入者) ・安心安全情報メール、エリアメール(ドコモ・au・ソフトバンク)の活用 ・公共施設等へのPHS配布 ・協定の見直し及び新たな協定の締結	・避難所運営協議会数 ・訓練参加者数	安心安全課防災防犯係	A	50
		災害時要援護者対策	・避難行動要支援者名簿登録数 ・ヘルプカード交付者数	地域福祉課地域福祉係	A	51
②	災害に強い都市空間の形成	(再掲) 防災農地の確保		安心安全課防災防犯係 地域活性化課地域振興係		
		特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化	制度利用者数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	A	52
③	避難空間の機能向上	・資機材、備蓄品の整備 ・備蓄倉庫の修繕 ・新たな備蓄品保管スペースの確保 ・マンホールトイレの設置(1か所) ・防災公園の検討(和泉多摩川緑地)	・備蓄食糧数	安心安全課防災防犯係	A	53
		(再掲) ・災害時要援護者対策		地域福祉課地域福祉係		
④	住宅地の防災性の向上	・住宅耐震診断、耐震改修等の耐震促進 ・【再掲】特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化	・耐震化率 ・各種制度利用実績	まちづくり推進課まちづくり推進担当	A	54
		・【再掲】狭あい道路の拡幅(道路修繕計画を進めた結果として、4m未満の道路を拡幅) ・【再掲】拡幅事業	拡幅整備を行った箇所数	道路交通課境界確定係・道路管理係 整備課財産管理係・土木整備係	A	55
⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上	・小中学校の耐震化(平成24年度までに完了) ・市庁舎及び避難所耐震化(平成25年度末、西和泉体育館除く) ・西和泉体育館(平成26年度) ・その他公共建築物(平成27年度)	公共施設の耐震化進捗状況(未耐震化件数累計)	施設課施設計画係 (他課分もある)	A	56
		(再掲) ・住宅耐震診断、耐震改修等の耐震促進 ・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化		まちづくり推進課まちづくり推進担当		
⑥	水害対策の推進	雨水管渠布設、雨水浸透施設の設置、既設管渠の改築、浸透ます・貯留槽設置助成	・整備率 ・雨水浸透施設の設置数 ・浸透ます、貯留槽設置助成数	下水道課下水道管理係	B	57
		(再掲) ・災害対策・ソフト面(水防訓練等の実施) ・資機材、備蓄品の整備 ・洪水ハザードマップの作成・配布(各戸+転入者)		安心安全課防災防犯係		
⑦	犯罪を防止する都市空間づくり	・安心安全パトロールの推進 ・安心安全情報メールの活用	・パトロール実施登録者数 ・メール登録者数 ・刑法犯発生件数	安心安全課防災防犯係	A	58
		学校安全ボランティアの活用	学校安全ボランティア登録者数	学校教育課教育庶務係	A	59
		街路灯のLED化	LED本数(LED移行本数累計)	道路交通課道路管理係	A	60
⑧	交通事故を防止する都市空間づくり	(再掲) ・小学生向け自転車教室、中学生向け交通安全教育、一般向け自転車交通安全教室の開催 ・自転車グッドライダーシールの交付		安心安全課防災防犯係		
		【再掲】調布3・4・16号線整備事業(七差路)	・交差点改良数 ・ハンプ設置数 ・カラー舗装延長数	整備課土木整備係	A	61
		交通安全施設整備		道路交通課道路管理係 整備課土木整備係		

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名	担当課
21	・地域防災計画修正 ・避難所運営協議会の設置支援 ・地域への避難所等鍵の配布 ・自主防災組織への補助（防災会、避難所運営協議会） ・災害対策・ソフト面（総合防災訓練、水防訓練、防災講演会の実施） ・資機材、備蓄品の整備 ・洪水・地震ハザードマップの作成・配布（各戸・転入者） ・安心安全情報メール、エリアメール（ドコモ・au・ソフトバンク）の活用 ・公共施設等へのPHS配布 ・協定の見直し及び新たな協定の締結	安心安全課防災防犯係

指標評価			
指標	・避難所運営協議会数 ・訓練参加者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
2箇所 1,861人	5箇所 1,766名	2.5倍 0.94倍	S

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成25年度は訓練を11月に実施したが、参加者数は減少した。実施形態は工夫しているので、もう少し様子を見て再検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	世田谷区と合同訓練を行う等、十分な連携を図っている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4－4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課
22	災害時要援護者対策		地域福祉課地域福祉係

指標評価			
指標	・避難行動要支援者名簿登録数 ・ヘルプカード交付者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
2,738人 0人	2,818人 550人	1.02倍 —	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	高齢障がい課と連携し、ヘルプカード（名称変更の可能性あり）の配布対象者を将来的には高齢者全体に拡大していくことも検討している。その他に災害用ベストの製作も検討している。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4－4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課
23	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化		まちづくり推進課まちづくり推進担当

指標評価			
指標	制度利用者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
診断1件	診断3件	3倍	s

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	東京都の制度で義務付けられている耐震診断は、平成25年度までに対象建物について終了した。引き続き耐震改修が進むよう促していく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名	担当課
24	- 資機材、備蓄品の整備 - 備蓄倉庫の修繕 - 新たな備蓄品保管スペースの確保 - マンホールトイレの設置（1か所） - 防災公園の検討（和泉多摩川緑地）	安心安全課防災防犯係

指標評価			
指標	・備蓄食糧数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
45,410	45,410	1 倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	備蓄品保管スペースの確保を効率的に進める必要がある。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	備蓄品保管スペースとして、学校の空きスペースを提供いただき、活用することを考えている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名			担当課
25	・住宅耐震診断、耐震改修等の耐震促進 ・【再掲】特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化			まちづくり推進課 まちづくり推進担当

指標評価			
指標	・耐震化率 ・各種制度利用実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
— 診断12件 改修3件	59.75% 診断13件 改修10件	— 1.08倍 3.33倍	s

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	耐震化率については、耐震改修促進計画の目標に対してかなり低い率で推移しており、引き続き啓発が必要である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課
26	・【再掲】狭あい道路の拡幅（道路修繕計画を進めた結果として、4m未満の道路を拡幅） ・【再掲】拡幅事業		道路交通課境界確定係・道路管理係 整備課財産管理係・土木整備係

指標評価			
指標	拡幅整備を行った箇所数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
1箇所 （34号線）	1箇所 （32号線）	1倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4－4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名	担当課
27	・小中学校の耐震化（平成24年度までに完了） ・市庁舎及び避難所耐震化（平成25年度末。西和泉体育館除く） ・西和泉体育館（平成26年度） ・その他公共建築物（平成27年度）	施設課施設計画係 （他課分もある）

指標評価			
指標	公共施設の耐震化進捗状況（未耐震化件数累計）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
10件	7件	0.7倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	公共施設整備計画に示されている予定通りの進捗となっている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課
28	雨水管渠布設、雨水浸透施設の設置、既設管渠の改築、浸透ます・貯留槽設置助成		下水道課下水道管理係

指標評価			
指標	- 整備率 - 雨水浸透施設の設置数 - 浸透ます、貯留槽設置助成数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
72.07% 浸透ます0基 浸透トレンチ0m 道路浸透ます690基 浸透ます助成37基 貯留槽助成24基	73.47% 浸透ます0基 浸透トレンチ0m 道路浸透ます617基 浸透ます助成25基 貯留槽助成16基	1.01倍 — — 0.89倍 0.67倍 0.66倍	C

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	浸透ますや浸透トレンチについては、平成25年度までに既存集水ますの浸透化を行ったので、平成26年度にその評価を行い、今後の方向性を決める予定である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	浸透ますや浸透トレンチについては、成果が出にくいので、耐震化の方を優先的にやっている。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	浸透ますや浸透トレンチについての方向性を平成26年度までに検討し、整備の計画について修正等を行う必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課
29	・安心安全パトロールの推進 ・安心安全情報メールの活用		安心安全課防災防犯係

指標評価			
指標	・パトロール実施登録者数 ・メール登録者数 ・刑法犯発生件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
634人 8,288人 580件	619人 9,502人 617件	0.97倍 1.14倍 1.06倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	パトロールは防犯協会が実施している。HPやイベントでの広報により、メール登録者の増加に努めている。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課
30	学校安全ボランティアの活用		学校教育課教育庶務係

指標評価			
指標	学校安全ボランティア登録者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
170人	112人	0.65倍	c

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	登録者数が減っているが、登録は1年ごとに更新であり、引き続き、登録者数を確保できるよう働きかける。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-4 安心・安全まちづくり施策	
施策の内容	① 総合的な防災対策の推進
	② 災害に強い都市空間の形成
	③ 避難空間の機能向上
	④ 住宅地の防災性の向上
	⑤ 建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥ 水害対策の推進
	⑦ 犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧ 交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課
31	街路灯のLED化		道路交通課道路管理係

指標評価			
指標	LED本数（LED移行本数累計）		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
360本	464本（伸び104本）	1.28倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名	担当課
32	交通安全施設整備	道路交通課道路管理係 整備課土木整備係

指標評価			
指標	・交差点改良数 ・ハンプ設置数 ・カラー舗装延長数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
5路線1,265m	4路線1,315m	1.03倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

第2章 進捗評価シート

5 福祉のまちづくりの方針

4-5 福祉のまちづくりの方針

(2)福祉のまちづくり施策の方向(P54)

		現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
後期基本計画上のこの分野の指標	子育てひろば年間利用者数(人)【重点】	25,016	26,300
	児童館の年間利用者数(人)【個別】	19,341	↗
	学童クラブ入所・入会者数(人)【個別】	448(H24.3.31)	↗
	民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)【個別】	0	↗
	日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人とふれあう機会のある高齢者の割合(%)【個別】	52.3	↗

	方 向	事 業	指 標	主 管 課 係	進 捗	ページ
①	市民のニーズに応じた住まいの確保	・シルバーピア事業 ・高齢者住宅改修、介護保険住宅改修	・シルバーピア利用率 ・各制度利用者数	高齢障がい課高齢者支援係	A	64
		都営住宅募集案内の情報提供	・配布部数	市民課住民記録係	A	65
②	「歩きやすいまちづくり」の推進	【再掲】ポケットパークやベンチの整備		道路交通課道路管理係 環境政策課水と緑の係		
		【再掲】 調布3・4・16号線整備事業・調布3・4・4号線整備事業(終了) 市道34号線整備事業・市道32号線整備事業(終了)		整備課土木整備係		
③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり	・「音楽の街ー狛江」 ・「絵手紙発祥の地ー狛江」	音楽事業・絵手紙事業イベント開催回数	地域活性課コミュニティ文化係	A	66
		コミュニティスペースの整備	・地区センター、地域センター、健康増進室、公民館の会議室等の利用状況 ・催し物の参加者数 ・体育施設利用状況、学校開放実績	地域活性課コミュニティ文化係 健康推進課健康推進係 社会教育課社会教育係 公民館	A	67
④	公共公益施設の整備・改善	公共施設のユニバーサル化		施設課施設計画係	A	68
		あいとびあセンター 平成28年度大規模改修予定(現計画)	・公共施設のユニバーサル化(福祉基本条例で定める適合証の交付を受けた施設数累計)	健康推進課健康推進係		
		地域・地区センターの管理運営		地域活性課コミュニティ文化係		
		民間施設ユニバーサルデザイン推進事業	狛江市福祉基本条例に基づく完了検査の実績	地域福祉課地域福祉係	A	69
		赤ちゃんふらっと	広報実績、都申請件数	子育て支援課企画支援係	B	70
⑤	屋外空間の整備・改善	道路修繕計画や歩道のセミフラット化、UDブロックの採用、点字ブロックの採用	整備箇所数	道路交通課道路管理係	A	71

施策（方針番号）	
4-5 福祉のまちづくり施策	
施策の内容	① 市民のニーズに応じた住まいの確保
	② 「歩きやすいまちづくり」の推進
	③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④ 公共公益施設の整備・改善
	⑤ 屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
33	・シルバーピア事業 ・高齢者住宅改修、介護保険住宅改修	高齢障がい課高齢者支援係

指標評価			
指標	・シルバーピア利用率 ・各制度利用者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
いわど100% のがわ100% いすみ94%	いずれも100%	1倍 1倍 1.06倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成27年度に予定されている住宅マスタープランとの整合性を図るため、平成26年度に予定されている高齢者福祉計画の改定の際はまちづくり推進課と連携を図る必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-5 福祉のまちづくり施策	
施策の内容	① 市民のニーズに応じた住まいの確保
	② 「歩きやすいまちづくり」の推進
	③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④ 公共公益施設の整備・改善
	⑤ 屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
34	都営住宅募集案内の情報提供	市民課住民記録係

指標評価			
指標	配布部数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
配布部数2,000部 募集戸数7戸 倍率83.7倍	配布部数2,572部 募集戸数70件 倍率13.4倍	1.28倍 10倍 0.16倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-5 福祉のまちづくり施策	
施策の内容	① 市民のニーズに応じた住まいの確保
	② 「歩きやすいまちづくり」の推進
	③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④ 公共公益施設の整備・改善
	⑤ 屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
35	・「音楽の街ー粕江」 ・「絵手紙発祥の地ー粕江」	地域活性課コミュニティ文化係

指標評価			
指標	音楽事業・絵手紙事業イベント開催回数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
音楽事業23回 絵手紙48回	音楽事業30回 絵手紙63回	1.3倍 1.31倍	S

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
36	コミュニティスペースの整備	地域活性課コミュニティ文化係、健康推進課健康推進係、社会教育課社会教育係、公民館

指標評価			
指標	・地区センター、地域センター、健康増進室、公民館の会議室等の利用状況 ・催し物の参加者数 ・体育施設利用状況、学校開放実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
岩戸55.6%	岩戸56.6%	1.01倍	a
根川33.6%	根川31.6%	0.94倍	b
上和泉（体）82.9%	上和泉72.5%	0.87倍	b
上和泉50.7%	上和泉46.1%	0.90倍	b
駄倉47.4%	駄倉48.7%	1.02倍	a
谷戸橋39.2%	谷戸橋29.9%	0.76倍	c
南部45.6%	南部42.4%	0.92倍	b
野川50.9%	野川50.5%	0.99倍	b
和泉多摩川38.2%	和泉多摩川44.0%	1.15倍	a
あいとびあ9,940人	あいとびあ9,677人	0.97倍	b
市民体育館4,887人	市民体育館6,171人	1.26倍	a
公民館175,631人	公民館169,328人	0.96倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	基本的には前年度と同等の利用率である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	改修は、予定通りに進んでいる。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-5 福祉のまちづくり施策	
施策の内容	① 市民のニーズに応じた住まいの確保
	② 「歩きやすいまちづくり」の推進
	③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④ 公共公益施設の整備・改善
	⑤ 屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
37	公共施設のユニバーサル化	施設課施設計画係

指標評価			
指標	狛江市福祉基本条例で定める適合証の交付を受けた施設数累計		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
3施設	4施設	1.3倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	改修工事時に合わせて適合証の交付を受けようとしている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-5 福祉のまちづくり施策	
施策の内容	① 市民のニーズに応じた住まいの確保
	② 「歩きやすいまちづくり」の推進
	③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④ 公共公益施設の整備・改善
	⑤ 屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
38	民間施設ユニバーサルデザイン推進事業	地域福祉課地域福祉係

指標評価			
指標	狛江市福祉基本条例に基づく完了検査の実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
24箇所	17箇所	0.7倍	c

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	公共公益施設の実績はあるが、その他の施設で実績がない（民間施設がない）という課題がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-5 福祉のまちづくり施策	
施策の内容	① 市民のニーズに応じた住まいの確保
	② 「歩きやすいまちづくり」の推進
	③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④ 公共公益施設の整備・改善
	⑤ 屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
39	赤ちゃんふらっと	子育て支援課企画支援係

指標評価			
指標	広報実績、都申請件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
1回、0件	0回、0件	—	c

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	平成25年度は広報活動が行えなかったため、平成26年度は制度周知のため、引き続き広報活動を行う。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	引き続き制度周知及び制度の利用促進を図る必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-5 福祉のまちづくり施策	
施策の内容	① 市民のニーズに応じた住まいの確保
	② 「歩きやすいまちづくり」の推進
	③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④ 公共公益施設の整備・改善
	⑤ 屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名			担当課
40	道路修繕計画や歩道のセミフラット化、UDブロックの採用、点字ブロックの採用			道路交通課道路管理係

指標評価			
指標	整備箇所数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
0件 道路修繕計画策定	3件	—	S

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

第2章 進捗評価シート

6 粕江らしい文化を育むまちづくりの方針

4-6 狛江らしい文化を育むまちづくりの方針

(2) 狛江らしい文化を育むまちづくり施策の方向 (P57)

	現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
後期基本計画上のこの分野の指標	市の歴史や伝統に関心を持ったり、見聞きたりしたことのある市民の割合(%)【個別】	58.0 ↑

方 向			事 業	指 標	主 管 課 係	進 捗	ページ
①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成	1) 緑の景観拠点	弁財天池特別緑地保全地区		環境政策課水と緑の係		
		2) 都市景観の創出拠点	【再掲】学校緑化基本方針に基づく校庭芝生及び屋上緑化の維持管理、緑のカーテンの設置		学校教育課教育庶務係		
			放置自転車対策		道路交通課交通対策係		
		3) 歴史的景観拠点	・泉龍寺建造物の文化財指定 ・兜塚古墳・亀塚古墳の樹木の剪定、兜塚古墳のフェンス修繕 ・猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ	・史跡等の指定件数 ・史跡の維持・管理実績 ・史跡の整備実績	社会教育課文化財担当	A	74
②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成	1) 水辺の景観軸	・【再掲】多摩川統一清掃、野川美化清掃の実施 ・多摩川河川敷の環境を保全する条例に基づく規制	・条例に基づく勧告者数 ・多摩川統一清掃、野川美化清掃の活動実績、参加者数	環境政策課水と緑の係	A	75
			多摩川、野川の流域自治体や管理者である国土交通省、東京都と協働した活動		環境政策課水と緑の係		
		2) 緑の景観軸	【再掲】公園・緑地の維持管理(野川緑地公園、岩戸川緑地公園(緑道)の維持管理)		環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係		
		3) 街路の景観軸	・緑のまち推進補助制度による民有地緑化の推進 ・界わい緑化	制度利用件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係	C	76
			・調布3・4・16号線整備 ・調布3・4・4号線整備(終了) ・市道34号線整備事業 ・調布3・4・17号線植栽	街路沿い緑化延長総計・植栽実績	道路交通課道路管理係 整備課土木整備係	B	77
			花いっぱい事業	植込み苗数	環境政策課水と緑の係	A	78
③	良質な街並みの保全	・生産緑地の保全 ・【再掲】景観まちづくりビジョンの作成	・生産緑地数 ・景観まちづくりWG実施回数	まちづくり推進課都市計画担当・まちづくり推進担当	B	79	
④	公共公益施設における文化的拠点の形成	・地域・地区センターの管理運営 ・市民ホール(指定管理者である一般財団法人狛江市文化振興事業団を中心として、適切な維持管理を行っていく)	市民ホール稼働率	地域活性課コミュニティ文化係	A	80	
⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造	・【再掲】景観まちづくりWG ・狛江のまち-魅力百選	狛江のまち-魅力百選冊子配布数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	A	81	
		・郷土芸能保存団体への補助金の交付 ・猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ ・猪方小川塚古墳現地見学会の実施	文化財展、講演会、講座の実施実績、古民家園の事業実績、入園者数、補助金の交付実績	社会教育課文化財担当	B	82	

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
41	・ 泉龍寺建造物の文化財指定 ・ 兜塚古墳・亀塚古墳の樹木の剪定、兜塚古墳のフェンス修繕 ・ 猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ	社会教育課文化財担当

指標評価			
指標	・ 史跡等の指定件数 ・ 史跡の維持、管理実績 ・ 史跡の整備実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
新規0件 管理3件 整備0件	新規1件 管理4件 整備0件	— 1.3倍 —	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	市が土地を買い上げて指定する文化財指定は財政的に限界があるが、現状ある市内の碑等を有形文化財の建造物として指定し、歴史的景観拠点としていく。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
42	・【再掲】多摩川統一清掃、野川美化清掃の実施 ・多摩川河川敷の環境を保全する条例に基づく規制	環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	・条例に基づく勧告者数 ・多摩川統一清掃、野川美化清掃の活動実績、参加者数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
0件 未実施	0件 280人	1倍 —	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	河川敷の監視については、条例の効果を維持する上で必要だが、多摩川で活動しているアドプト等の団体や市外の団体等の活用による市民活力の活用によるコスト削減についても検討していきたい。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
43	- 緑のまち推進補助制度による民有地緑化の推進 - 界わい緑化	まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	制度利用件数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
3	2	0.66	c

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	民地の緑化は緑の基本計画の目標達成には不可欠だが、生垣造成補助制度の利用率が低かったため、平成26年度から始める新制度の利用促進を図る必要がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	界わい緑化については、平成26年度から3年間まちづくり推進課と環境政策課で連携して実施する。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	緑のまち推進補助制度の普及啓発を図るとともに、界わい緑化を契機に商店街等の団体単位での緑化推進を検討する必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
44	・調布3・4・16号線整備 ・調布3・4・4号線整備（終了） ・市道34号線整備事業 ・調布3・4・17号線植栽	道路交通課道路管理係 整備課土木整備係

指標評価			
指標	街路沿い緑化延長総計・植栽実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
88㎡（34号線） 約1,600㎡（3・4・17）	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	次回の植栽は都市計画道路調布3・4・16号線整備の際に行う予定であり、都市計画道路調布3・4・16号線は7～8年の計画で進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	植栽を行う整備の機会自体が少ないため、整備の際は確実に進める必要がある。

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
45	花いっぱい事業	環境政策課水と緑の係

指標評価			
指標	植込み苗数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
6,808個	8,257個	1.21倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	駅前三角地での実施は、暫定利用との関係を調整する必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
46	・生産緑地の保全 ・【再掲】景観まちづくりビジョンの作成	まちづくり推進課都市計画担当・まちづくり推進担当

指標評価			
指標	・生産緑地数 ・景観まちづくりWG実施回数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
142箇所 0回	140箇所 8回	0.98倍 —	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	生産緑地については指定解除による宅地化が進んでおり、平成24年度末から対策の検討を開始し、平成25年度に公園・緑地の配置方針をまとめたところである。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	景観まちづくりワーキンググループは、無償で行っていただいている。
事業の執行体制上の課題・その他	a a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	公園・緑地の配置方針に基づき、生産緑地の買取申出に対応するため、土地開発公社の活用について、整備課と連携する必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	生産緑地の保全について、公園・緑地の配置方針に沿い、保全すべきものについては買取の検討を行い、平成27年度に策定予定の景観まちづくりビジョンに従い、良好な景観形成を進めていく必要がある。
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
47	・地域・地区センターの管理運営 ・市民ホール（指定管理者である一般財団法人狛江市文化振興事業団を中心として、適切な維持管理を行っていく）	地域活性課コミュニティ文化係

指標評価			
指標	市民ホール稼働率		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
56.3%	57.8%	1.02倍	a

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	指定管理者から平成30年度までの計画が提出され、その計画に基づき進めていく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）	
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策	
施策の内容	① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③ 良質な街並みの保全
	④ 公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
48	・【再掲】景観まちづくりWG ・狛江のまち-魅力百選	まちづくり推進課まちづくり推進担当

指標評価			
指標	狛江のまち-魅力百選冊子配布数		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
0（作成年次）	3,000部	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	来年度景観ラリーを行うにあたっては、指導室と連携する予定である。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.順調である B.一部課題がある C.課題がある	

施策（方針番号）		
4－6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名	担当課
49	- 郷土芸能保存団体への補助金の交付 - 猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ - 猪方小川塚古墳現地見学会の実施	社会教育課文化財担当

指標評価			
指標	文化財展、講演会、講座の実施実績、古民家園の事業実績、入園者数、補助金の交付実績		
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果
文化財展2回 講座・講演会0回 古民家園事業40件 古民家園入園者数23,232人 補助金交付2件	文化財展2回 講座・講演会2回 古民家園事業39件 古民家園入園者数18,683人 補助金交付1件	文化財展1倍 古民家園事業0.97倍 古民家園入園者数0.8倍 補助金交付0.5倍	b

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.順調である b.一部課題がある c.課題がある	古民家園については、将来的な施設の維持管理に係る体制のあり方、事業内容等、管理・運営の見直しを進め、平成27年度以降は、市の直営とする予定である。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	地域の文化の維持、継承のため現状維持に努めるとともに、古民家園については課題解決の取組みを進める必要がある。
A.順調である	
B.一部課題がある C.課題がある	

第3章 今後の取組み

第3章 今後の取組み

1 評価結果のまとめ

平成 25 年度実績についての評価結果をまとめると、下表のようになりました。

(1) 指標評価結果

評価基準	評価内容	前年度比(目安)	事業数	
s	取組みが大幅に進んだ	1.5 倍以上	10	15.2%
a	取組みが進んだ	1 倍超	16	24.2%
b	現状維持	0.8 倍～1 倍	18	27.3%
c	取組みが後退した	0.8 倍未満	5	7.6%
d	取組みの見直しが必要	0.5 倍以下	0	0%
評価ができなかったもの			17	25.7%
計			66	100%

なお、事業の評価ができなかったものは、主に平成 25 年度は事業未着手若しくは平成 25 年度から事業開始のもの又は事業主体が他の自治体となっています。

(2) 総合評価結果

評価基準	評価内容	事業数	
A	順調である	40	60.6%
B	一部課題がある	15	22.7%
C	課題がある	9	13.6%
評価ができなかったもの		2	3.1%
計		66	100%

なお、事業の評価ができなかったものは、主に事業主体が他の自治体となっているものとなっています。

(3) 課題

指標評価結果では 66.7%が現状維持以上、総合評価結果では 60.6%が順調であることがわかりましたが、総合評価結果では 36.3%で何らかの課題があることがわかりました。特にまちづくりにおいて重点分野となる土地利用の方針に関する分野で、C評価が多い結果となりました。

2 取組みの推進に向けて

(1) 庁内での推進

都市計画マスタープランの総合的かつ効率的な推進のため、総合評価としてA評価のものについては引き続き取組みを進めていただくものとします。またB評価以下のものについては、事業所管課は課題解決のための取組みを進めるとともに、都市計画マスタープランの所管担当課としてまちづくり推進課は庁内の連携体制の

整備や調整に努め、次年度以降の予定どおりの進捗を目指します。

(2) 市民参加による進捗管理

平成 24 年度から当初 5 年間の進捗管理について毎年度のローリングを行い、狛江市まちづくり委員会に報告するとともに、平成 28 年度までを目途に、平成 29 年度以降の施策や事業について市民の意見を反映する進捗管理手法の検討を行うこととします。

総合評価結果で課題があるとして C 評価となったものはもちろん、指標評価結果で取組みが後退したとされた c 評価や取組みの見直しが必要とされた d 評価についても市民参加による進捗管理の対象とすることで、都市計画マスタープランの着実な推進を図ります。

刊行物番号H26-23

狛江市都市計画マスタープラン進捗管理 平成 25 年度報告書
平成 26 年 7 月

発行 狛江市

編集 狛江市都市建設部まちづくり推進課

〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電話 03-3430-1111（代）

頒布価格 120 円